

【財務会計システム】連携要件一覧

<対応方法>  
 ○：パッケージの標準的な機能にて対応可能  
 ▲：カスタマイズにて対応する  
 △：代替方法として提案する 例) EUCにて対応します  
 ×：実装不可

No.	連携先システム名	連携名		連携の概要	連携頻度	連携手法	連携の向き			詳細	中継 ※「直接連携していない場合の置き場」	提案者記入欄		
		(大分類)	連携名 (連携の向き)				連携元	データの 流れ	連携先			対応方法	費用 (円)	代替案による実現方法
1	契約事務システム	執行向・契約締結、検査検収依頼等データ連携	施工向情報のデータ連携 (出力)	財務会計システムで施工向登録後、当該案件が電子決裁で決裁済みになった施工向情報	随時 (5分間隔)	オンライン連携 データ形式：CSV ファイル連携	財務会計システム (工事管理)	→	契約事務システム	主なデータ連携項目 更新区分、年度、何書NO、上下水区分、起票日、決裁日、契約種別、業種区分、件名、履行場所、摘要、執行所属、契約担当課、施工区分、適正工期、完了予定日、今回執行何額、債務負担行為額、履行期間・完了予定日、履行期間・日数、監督員コード、監督員、設計金額、設計金額・税額、設計金額・消費税区分、復帰改行	局財務側の中間フォルダ ※上下水道局の中間フォルダを中継し、双方にて配置・切り取りを行ってデータ連携を実施。 受け渡し用のファイルの排他制御は連携用CSVファイルをファイルサーバに格納後、転送完了通知ファイル（拡張子が、end）を作成する方式。転送完了通知ファイルを検知後、連携用CSVファイルをシステム内に取り込む流れで連携を実施。			
2			設計変更何情報データのデータ連携 (出力)	財務会計システムで設計変更何登録後、当該案件が電子決裁で決裁済みになった設計変更何情報	随時 (5分間隔)	オンライン連携 データ形式：CSV ファイル連携	財務会計システム (工事管理)	→	契約事務システム	主なデータ連携項目 更新区分、年度、何書NO、上下水区分、起票日、決裁日、工事番号、件名、履行場所、変更回数、変更内容1、変更内容2、変更内容3、変更内容4、変更理由、今回執行何額、変更工期・開始、変更工期・終了、変更設計金額、変更設計金額・税額、変更設計金額・消費税区分、変更契約金額、変更契約金額・税額、変更契約金額・消費税区分、復帰改行				
3			検査検収依頼情報のデータ連携 (出力)	財務会計システムで検査検収依頼登録後、当該案件が電子決裁で決裁済みになった検査検収依頼情報	随時 (5分間隔)	オンライン連携 データ形式：CSV ファイル連携	財務会計システム (工事管理)	→	契約事務システム	主なデータ連携項目 更新区分、年度、検査NO、上下水区分、起票日、工事番号、件名、検査種別、回数、前払金、部分払金、今回支払金額、合冊区分、込工事区分、低入札区分、工事担当者氏名、工事担当者電話番号、復帰改行  検査は市長事務局部に依頼する。検査結果については、市長事務部より紙で受領し、財務会計システムに入力する運用となっている。（検査：出力のみ）				
4			契約締結情報のデータ連携 (入力)	契約事務システムで登録した契約結果情報	随時 (3分間隔)	オンライン連携 データ形式：CSV ファイル連携	契約事務システム	→	財務会計システム (工事管理)	主なデータ連携項目 年度、何書NO、上下水区分、工事番号、業種種別コード、業種種別名称、入札および契約方法、随附理由、契約業者番号、契約業者名称、契約業者所在地、契約業者方書、契約業者代表者役職、契約業者代表者、契約業者電話番号、契約業者FAX番号、入札年月日、契約年月日、工期(開始)、工期(終了)、契約金額、契約金額・税額、契約金額・消費税区分、復帰改行				
5			変更契約情報のデータ連携 (入力)	契約事務システムで登録した変更契約結果情報	随時 (3分間隔)	オンライン連携 データ形式：CSV ファイル連携	契約事務システム	→	財務会計システム (工事管理)	主なデータ連携項目 年度、何書NO、上下水区分、工事番号、変更回数、変更契約年月日、工期(開始)、工期(終了)、変更契約金額、変更契約金額・税額、変更契約金額・消費税区分、復帰改行				
6			業者情報のデータ連携 (入力)	契約事務システムで登録した業者情報	日次	オンライン連携 データ形式：CSV ファイル連携	契約事務システム	→	財務会計システム (工事管理)	主なデータ連携項目 更新区分、相手方コード、業者名称漢字、代表者役職名、代表者名、郵便番号、住所漢字、方書、電話番号、支払種別_1、銀行コード_1、支店コード_1、口座種別_1、口座番号_1、口座名義人氏名(漢字)_1、口座名義人氏名(カナ)_1、復帰改行 ※支払種別から口座名義人氏名(カナ)の項目は、1~10まで繰り返し定義。（項目数が多いため、割愛）				
7	総合文書管理システム（決裁基盤システム）	決裁連携	決裁依頼のデータ連携 (出力)	上下水道局財務会計システムにおける支出管理・収入管理・振替管理・物品購入管理・工事管理・貯蔵品管理等での起票分電子決裁情報の連携	随時	オンライン連携 データ形式：XML形式 API連携（SOAP）	財務会計システム (工事管理、支出管理、収入管理、物品購入管理、振替管理、貯蔵品管理、電子決裁処理)	→	総合文書管理システム	主なデータ連携項目 文書件名、起票理由、決裁区分、伝票番号、添付ファイル名、データ内容（文書イメージ）等  職員番号変換APIリクエストXML 起票時決裁ルート作成依頼APIリクエストXML 基本ルート取得APIリクエストXML 職員一覧取得APIリクエストXML 処理区分取得APIリクエストXML 受付情報取得APIリクエストXML 決裁区分取得APIリクエストXML 起票・修正依頼APIリクエストXML 取消依頼APIリクエストXML 決裁ルート確認APIリクエストXML BASE64エンコードファイル.pdf	中継なし			
8			決裁結果通知のデータ連携 (入力)	上下水道局財務会計システムにおける支出管理・収入管理・振替管理・物品購入管理・工事管理・貯蔵品管理等での起票分電子決裁依頼の結果情報の連携	随時	オンライン連携 データ形式：XML形式 API連携（SOAP）	総合文書管理システム	→	財務会計システム (工事管理、支出管理、収入管理、物品購入管理、振替管理、貯蔵品管理、電子決裁処理)	主なデータ連携項目 文書件名、伝票番号、案件番号、処理区分、担当者、役職、作成日、決裁日、決裁区分等  職員番号変換APIレスポンスXML 起票時決裁ルート作成依頼APIレスポンスXML 基本ルート取得APIレスポンスXML 職員一覧取得APIレスポンスXML 処理区分取得APIレスポンスXML 受付情報取得APIレスポンスXML 決裁区分取得APIレスポンスXML 起票・修正依頼APIレスポンスXML 取消依頼APIレスポンスXML 決裁ルート確認APIレスポンスXML				

No.	連携先システム名	連携名		連携の概要	連携頻度	連携手法	連携の向き			詳細	中継 ※「直接連携していない場合の置き場」	提案者記入欄		
		(大分類)	連携名 (連携の向き)				連携元	データの 流れ	連携先			対応方法	費用 (円)	代替案による実現方法
9	地銀ネットワーク	公共料金支払データ	公共料金振替データ連携 (入力)	仮想LGWAN端末からNTTデータPufureを通じて公共料金振替データ受信	随時	オンライン連携+ 手動連携  仮想LGWAN端末からNTTデータPufureを通じて受信 (オンライン連携)  LGWANからCネットへ振替データ移動 (手動連携)	地銀ネットワーク	→	財務会計システム (会計データ取 込)	公共料金振替データ LGWANにて受信した公共料金振替データは、サーバに格納され、LGWANからCネットに持つてくる作業は、手作業で実施。	専用の取り出し口となるサーバ			
10	出納取扱金融機関BIB	支払データ連携	支払管理で作成した振込データ (出力)	・財務システム作成分 ・水道料金等選付データ ・給与関係での振込データ等(他システム作成)のファイル (会計年度任用職員様分のみBIBで実施) ・正規職員の給与から控除した職員厚生会・共済組合データ	随時	手動連携  データ形式：テキストデータ  情報系端末からBIBにアップロードし伝送	財務会計システム (支払管理)	→	出納取扱金融機関 BIB	支払管理で作成した振込データ BIB (ビジネスインターネットバンク) にてアップロードし、出納取扱金融機関に伝送する	中継なし			
11	局総合管理システム	局独自連携	水道料金に係る調定・収入金連携 (入力)	・水道料金 ・下水道使用料 ・水道加入金 ・下水道受益者負担金 ・区域外流入分担金	随時	手動連携  データ形式：PDF形式  局総合管理システムに対して、各業務が調定・収入金の金額を入力し確定させたものを財務会計システムに手入力する。	局総合管理システム	→	財務会計システム (収入管理)	局総合管理システムは、独自のネットワーク回線となっており、別途専用線を引いている。そのため、財務会計や市長事務局とは別のNWとなっており、意図的にシステム間連携できないようになっている。  次期システムにおいても、局総合管理システムで出力した紙帳票 (PDF) を参照し、財務会計システムで手入力を実施する。	中継なし			
12	市職員給与システム	市独自連携	職員給与情報データ連携 (入力)	市職員給与システムから受領した職員給与情報を財務会計システムに取り込むための連携。	随時	手動連携  データ形式：CSV形式  市職員給与システムより職員毎の給与情報を明細としてデータで受領している。	市職員給与システム	→	財務会計システム (支出管理)	人事課にて市職員給与を管理している。 職員給与のインターフェースにおける項目は決まっており、職員毎の明細 (1名毎に予算科目がついている) データとなっている。 明細データに対して、職員が費目単位にグルーピングしている。  次期システムでは、手入力からシステムへの取込に変更することを想定している。	中継なし			
13	財務会計システム	財務内連携	業者情報にかかるインボイス登録番号 (入出力なし (財務内))	出納室にて業者情報に紐づくインボイス登録番号を国税庁サイトで確認し、インボイス番号登録DBに反映する。インボイス登録番号を一元管理し、連携先の財務会計システム内のサブシステムと共有し、使用する。  ※システム間連携ではなく、運用によるサブシステム間の連携	随時	手動連携  データ形式：DB連携  出納室にて手動でインボイス番号登録DBに登録することで、財務会計システム内で共有して利用可能となる。  ※他システムとの連携なし	財務会計システム (インボイス番号登録DB)	→	財務会計システム (支出管理、物品 購入管理、工事管理)	インボイス登録番号チェックに関する運用  業者情報に紐づくインボイス登録番号をDBにて管理している。財務会計システムの相手方マスター (事業者情報) とマスターコードをキー項目として紐づけている。  管理項目 (マスターコード、インボイス登録番号)	中継なし			